

株主・投資家の皆さまへ

業績報告書



2013年3月期第2四半期決算報告



JT NEWS



JTグループ商品のご紹介



CLOSE UP! (JTグループ企業・事業部紹介)



JT TOPICS



旅路の先で出会う温故知新



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 当社ホームページ (http://www.jti.co.jp/) に掲載 ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 ■事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ■お問い合わせ先 郵便物送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (平日9:00～17:00) ■特別口座に関する手続き用紙のご請求 特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関 (☎0120-244-479) で24時間承っておりますので、ご利用ください。
------------------	--

株式の諸手続き	口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。
---------	-----------------------------

日本たばこ産業株式会社
〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
TEL 03-3582-3111 <http://www.jti.co.jp/>

この業績報告書は森林保護につながる
FSC® 認証紙を使用するとともに、
植物油インキを使用しています。



当第2四半期は、たばこ事業のトップライン成長が牽引し、増収増益となりました。

たばこ事業は、世界各国における競争激化や総需要減少、規制強化等、厳しい事業環境の下においても、これまで長年にわたり継続的に行ってきたブランド力強化に向けた投資により、力強く成長することができました。下期は、MILDSEVENのMEVIUSへの進化を中心にブランド力強化に引き続き取り組み、シェア回復に努めてまいります。



代表取締役社長

小泉 光臣

2013年3月期第2四半期の業績について

2013年3月期第2四半期は、国内たばこ事業の震災影響からの回復による販売数量の増加、海外たばこ事業の単価上昇とGFB伸長による販売数量の増加等による、たばこ事業のトップ

ライン成長が牽引し、売上収益は6.0%の増収、調整後EBITDA、営業利益は、それぞれ15.1%、25.5%の増益となりました。また、四半期利益（親会社の所有者帰属分）は、17.5%の増益となりました。

2013年3月期通期の業績見込について

2013年3月期全社業績見込について、売上収益は、為替前提の見直しによる為替のマイナス影響により当初見込から下方修正し、対前年2.9%成長を見込んでおります。

国内たばこ事業における販売数量の上方修正、及び海外たばこ事業における総販売数量、GFB販売数量の上方修正、単価上昇効果等に

より事業モメンタムは堅調に推移していますが、対ドル現地通貨安、対ドルでの円高による為替のマイナス影響により事業成長によるプラス影響がほぼ相殺されることを見込み、調整後EBITDAは、当初見込を据え置き、対前年3.1%の成長を見込んでおります。

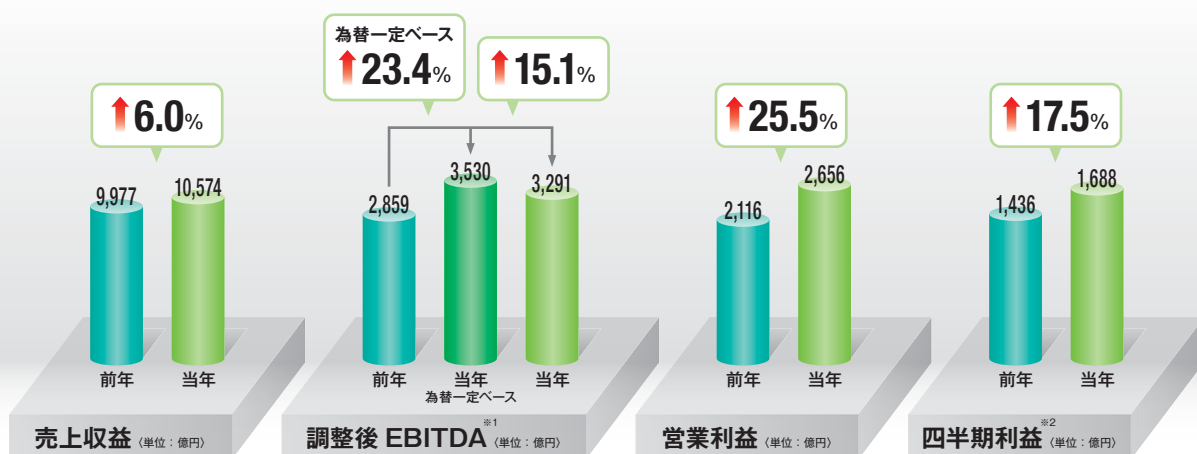
為替一定ベース調整後EBITDAについては、事業モメンタムにより対前年で11.2%の成長を見込んでおります。

一方、営業利益については、固定資産売却益の追加等を見込んだことにより、上方修正し、対前年7.4%の成長、当期利益については、金融損益悪化を織り込み、当初見込を据え置いています。

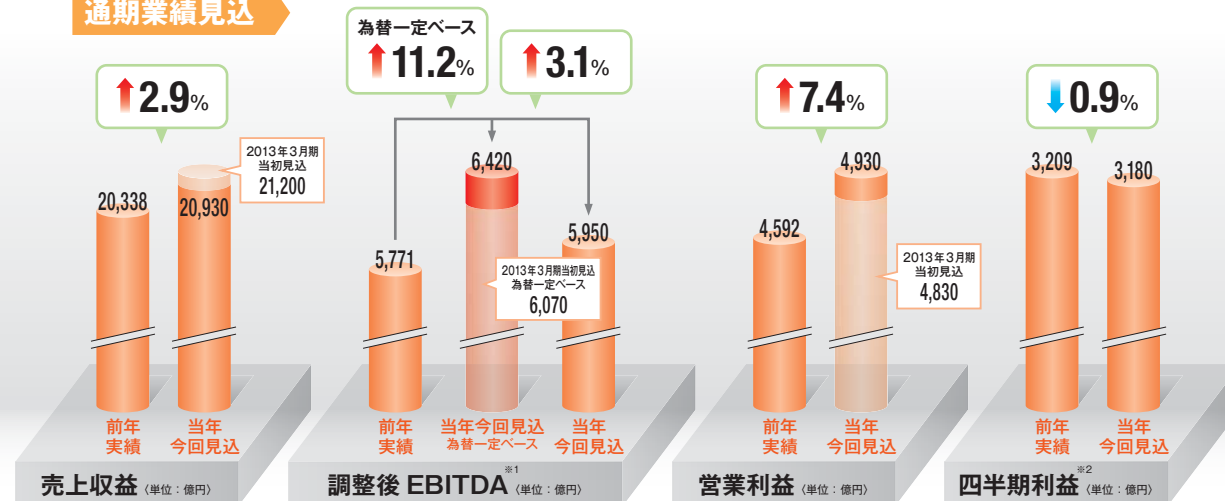
見込の達成に向け、各事業の戦略に引き続き注力してまいります。

2013年3月期（2012年度）第2四半期決算

第2四半期累計実績



通期業績見込

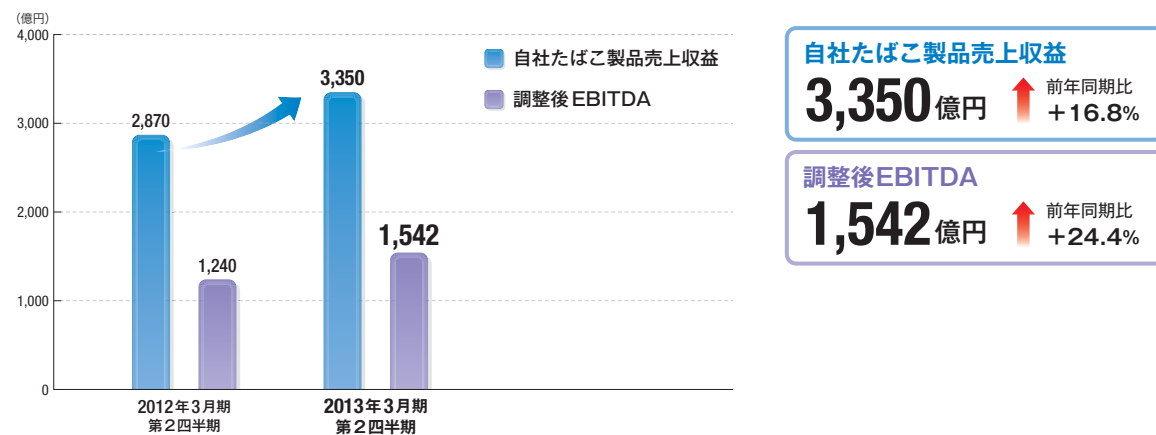


国内 たばこ事業

震災影響からの回復に伴う
販売数量の増加により増収増益

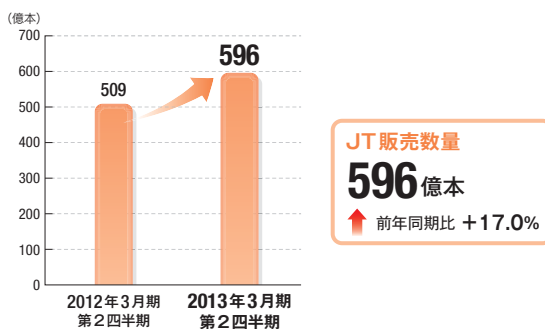
前年度第1四半期においては、東日本大震災の影響により銘柄数及び数量を限定していた状況にありましたが、その後シェア回復に向けた新製品の投入や販売促進活動の強化等に取り組んだ成果により、当期の販売数量は大幅に増加しました。販売数量の増加により、売上収益は増収、調整後EBITDAは増益となりました。

国内たばこ事業実績



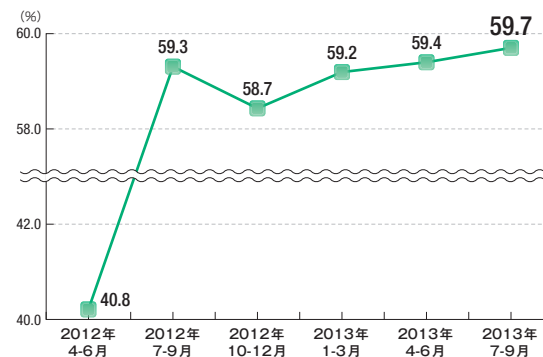
JT 販売数量実績

前年同期の震災影響からの回復、販売施策強化等の成果により増加しました。



JT 製品の市場シェア

新製品投入、販売促進活動の効果等により、シェアは着実に回復しています。

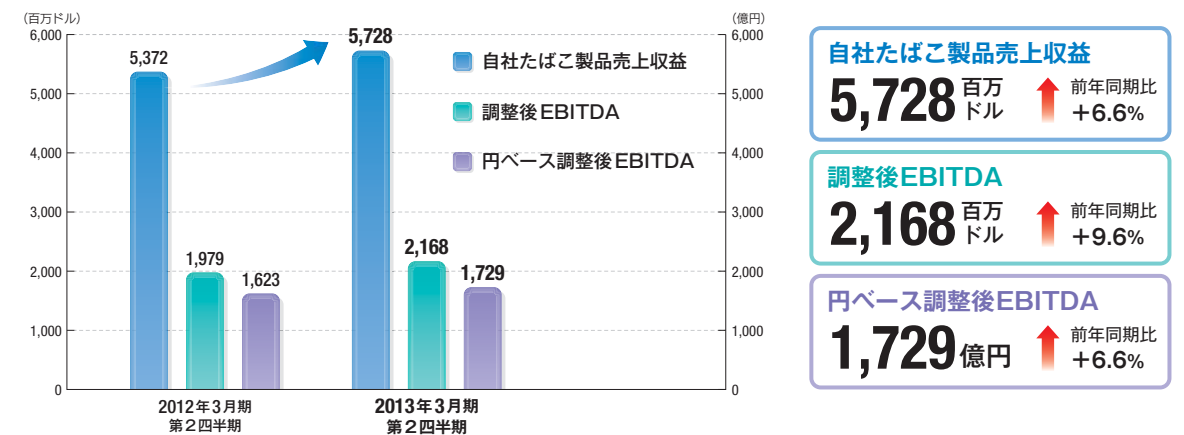


海外 たばこ事業

単価上昇、GFB販売数量の増加により、
力強いトップライン成長を実現

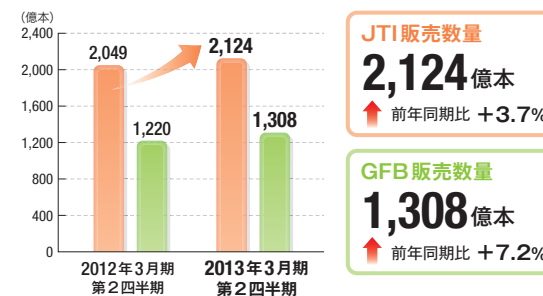
単価上昇効果とGFB(グローバル・フラッグシップ・ブランド)を中心とした販売数量の増加により、ドルベース自社たばこ製品売上収益は6.6%、調整後EBITDAは9.6%と、前年同期と比べ大きく成長しました。円ベースの調整後EBITDAは、換算時に円高の影響を受けたものの、6.6%の成長となりました。

海外たばこ事業実績



海外たばこ事業販売数量実績

総需要が減少する中、ブランドへの継続的な投資により、「ウィンストン」がロシア、イタリア、ウクライナで、「LD」がロシア、トルコで増加し、GFB販売数量が7.2%成長しました。



主要市場シェア

引き続き、ほぼすべての主要市場で伸長しました。

	2011年6月	2012年6月	増減
フランス	16.2%	16.7%	+0.5pt
スペイン	20.4%	22.1%	+1.7pt
イタリア	20.3%	21.4%	+1.0pt
英 国	39.0%	38.8%	△0.2pt
ロ シ ア	37.4%	36.7%	△0.7pt
(うちGFBシェア)	19.7%	21.3%	+1.6pt
ト ル コ	23.4%	25.4%	+2.0pt
台 湾	38.4%	38.2%	△0.2pt

※ AC ニールセン、Logista、Altadis、JTI 推定より、12 か月移動平均
※ % pt は、パーセントポイントの略

医薬事業

JTオリジナル化合物で初の承認を取得

鳥居薬品（株）における「レミッチカプセル」「ツルバダ配合錠」の好調による増収、及びJTにおいて既導出品の開発進展に伴う一時金収入があったこと等により、売上収益は37億円増収の265億円となりました。一方、調整後EBITDAは開発進展に伴う研究開発費の増加等により、5億円悪化の61億円の損失となっております。

開発状況では、抗HIV薬「JTK-303」を含む配合錠について、導出先であるギリアド・サイエンシズ社が、米国食品医薬局（FDA）の承認を取得しました。これは、JTが創製したオリジナル化合物で初めてのこととなります。その他の臨床開発品目については、2型糖尿病治療薬「JTT-851」が海外でPhase2へと移行しました。

医薬事業 臨床開発品目一覧（2012年10月30日現在）

開発名 （一般名など）	主な適応症	詳細	権利	開発 地域	開発段階					
					Phase1	Phase2	Phase3	申請	承認	
JTK-303 （elvitegravir）	HIV感染症	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出【配合錠】欧州／申請中【単 剤】米国・欧州／申請中	国内		配合錠および単剤として、国内申請準備中				
JTT-705 （dalcetrapib）	脂質異常症	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETP活性を調節することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（2012年5月7日、同社では開発中止を公表）	国内						
JTT-302	脂質異常症	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる		海外						
JTT-751 （クエン酸第二鉄水和物）	高リン血症	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導入（鳥居薬品と共同開発）	国内						
JTT-851	2型糖尿病	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する		国内 海外						
JTZ-951	腎性貧血	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる		国内 海外						
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する		海外						
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する		国内						

前回（2012年7月30日）公表時からの変更点：
JTT-851 海外臨床試験 Phase1 からPhase2へ移行
導出先のギリアド・サイエンシズ社が、JTK-303を含む配合錠について、米国FDAより承認取得を公表（8月27日）
【付記事項】 グラクソ・スミスクライン社が、当社導出品MEK阻害剤について、米国FDAに承認申請実施を公表（8月3日）

※開発段階の表記は投薬開始を基準とする

飲料事業

ルーツを中心としたブランド力・販売力の強化に引き続き注力

加工食品事業

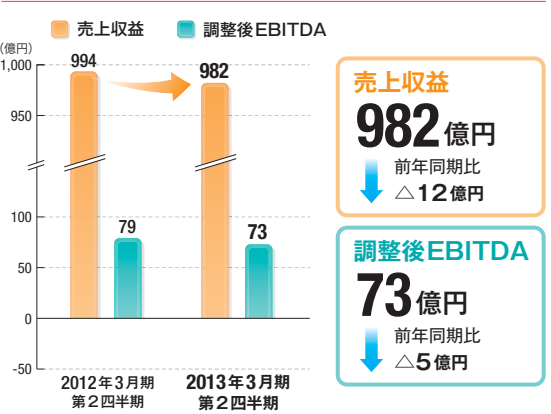
ステーキが引き続き伸長

食品事業については、当第2四半期より、従前の食品事業を飲料事業、加工食品事業のセグメントへの区分を行いました。

飲料事業については、前年同期における震災後の一時的な販売増の影響等から減収、調整後EBITDAについては、減収影響により減益となりました。

加工食品事業については、ステーキの伸長があった一方で、すでに撤退を発表している水産事業における減収の影響から、売上収益は減収となりました。調整後EBITDAについては、原材料価格高騰の影響があるものの、前年同期には訴訟関連費用を計上していたこと等から増益となりました。

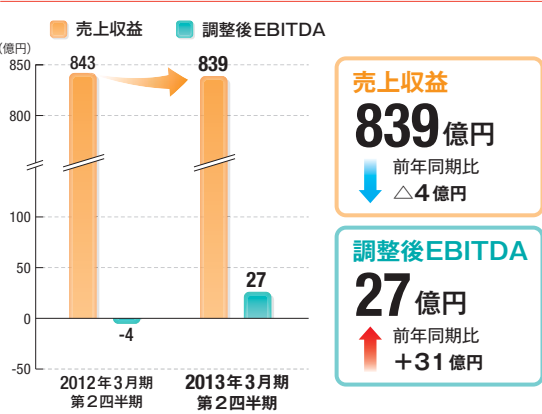
飲料事業実績



将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社または当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因

加工食品事業実績



となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。）

- ① 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ② たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- ③ 国内外の訴訟の動向
- ④ 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤ 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥ 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- ⑦ 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧ 国内外の経済状況
- ⑨ 為替変動及び原材料費の変動

連結財務諸表

連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科 目	前年度 (2012年3月31日)	当第2四半期末 (2012年9月30日)	増減金額
資産			
流動資産	1,331,050	1,289,777	△41,273
非流動資産	2,335,957	2,357,930	21,973
有形固定資産	619,536	622,653	3,117
のれん	1,110,046	1,139,322	29,277
無形資産	306,448	309,514	3,066
投資不動産	67,387	62,700	△4,687
退職給付に係る資産	14,371	15,476	1,105
持分法で会計処理されている投資	18,447	20,445	1,997
その他の金融資産	67,548	64,094	△3,455
繰延税金資産	132,174	123,726	△8,447
資産合計	3,667,007	3,647,707	△19,300

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point 1 流動資産

現金及び現金同等物が、Gryson 社買収に伴う支払により減少しました。

point 2 のれん

Gryson 社買収により増加しました。

科 目	前年度 (2012年3月31日)	当第2四半期末 (2012年9月30日)	増減金額
負債及び資本			
負債			
流動負債	1,157,474	1,058,073	△99,401
非流動負債	794,906	790,152	△4,754
負債合計	1,952,380	1,848,225	△104,155
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	1,634,050	1,717,784	83,734
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,410	736,410	—
自己株式	△94,574	△94,574	—
その他の資本の構成要素	△376,363	△394,489	△18,127
利益剰余金	1,268,577	1,370,437	101,860
非支配持分	80,576	81,698	1,122
資本合計	1,714,626	1,799,482	84,855
負債及び資本合計	3,667,007	3,647,707	△19,300

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point 3 流動負債

借入金の返済、社債の償還等により有利子負債が減少しました。

point 4 その他の資本の構成要素

対ドル現地通貨安の影響により在外営業活動体の為替差額が減少しました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (2011年4月1日 ～2011年9月30日)	当第2四半期 (2012年4月1日 ～2012年9月30日)	増減金額
売上収益	997,694	1,057,391	59,697
売上原価	△ 440,654	△ 444,552	△ 3,899
売上総利益	557,040	612,839	55,799
その他の営業収益	12,220	4,510	△ 7,709
持分法による投資利益	1,259	2,354	1,094
販売費及び一般管理費等	△ 358,890	△ 354,104	4,786
営業利益	211,630	265,599	53,969
金融収益	8,604	1,963	△ 6,640
金融費用	△ 11,252	△ 15,457	△ 4,205
税引前四半期利益	208,982	252,106	43,124
法人所得税費用	△ 61,718	△ 80,270	△ 18,552
四半期利益	147,264	171,836	24,571
四半期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期利益	143,638	168,766	25,128
非支配持分に帰属する四半期利益	3,626	3,070	△ 557
四半期利益	147,264	171,836	24,571

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (2011年4月1日 ～2011年9月30日)	当第2四半期 (2012年4月1日 ～2012年9月30日)	増減金額
四半期利益	147,264	171,836	24,571
その他の包括利益	72,306	△ 28,132	△ 100,438
四半期包括利益	219,571	143,704	△ 75,867
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	215,670	140,790	△ 74,879
非支配持分に帰属する四半期包括利益	3,901	2,913	△ 988
四半期包括利益	219,571	143,704	△ 75,867

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (2011年4月1日 ～2011年9月30日)	当第2四半期 (2012年4月1日 ～2012年9月30日)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	202,493	259,269	56,776
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 37,779	△ 96,279	△ 58,501
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 190,458	△ 214,900	△ 24,441
現金及び現金同等物の増減額	△ 25,744	△ 51,910	△ 26,166
現金及び現金同等物の期首残高	244,240	404,740	160,500
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△ 521	△ 8,522	△ 8,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	217,975	344,309	126,334

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

Gryson 社の買収により投資活動の支出が増大しました。

東日本大震災：復興支援

株主優待における
寄付に対する感謝状受領のご報告

2011年3月末の株主様を対象とした株主優待より、優待商品の贈呈に代えて、東日本大震災の復興支援に対する寄付をお選びいただける選択肢をご用意し、株主様のご厚意を募ってまいりました。寄付にご賛同いただいた株主様のご厚意は、社会福祉法人中央共同募金会『赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」』を通じて、東日本大震災の復興支援のために活動するNPO法人に対して寄付しており、過去3回の総額は1,482万8,000円となっております。

その株主様のご厚意に対して、10月5日、社会福祉法人中央共同募金会の中島謙次常務理事より感謝状が贈呈され、JTの山田晴彦執行役員（総務責任者）が受領いたしました。

寄付にご賛同いただいた株主様には、あらためて厚く御礼申し上げます。



【東日本大震災の復興支援に対する寄付】

東日本大震災の被災者への救済及び被災地の復興支援のひとつとして、社会福祉法人中央共同募金会『赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」』を通じ、寄付を行います。株主様への優待商品に代えて、その相当金額をJTから上記団体へ寄付させていただきます。



（写真右から）
JT・山田晴彦執行役員、
社会福祉法人 中央共同募金会・
中島謙次常務理事



和やかな雰囲気の中、中央共同募金会より活動報告が行われました

「JTの森 智頭」
鳥取県、鳥取県智頭町と
森林保全協定を3年間更新

8月29日、「JTの森 智頭」の2期目の調印式が鳥取県知事公邸で行われ、鳥取県、鳥取県智頭町とJTが森林保全協定を締結しました。JTは、鳥取県の「とっとり共生の森」制度に基づき、鳥取県、鳥取県智頭町と2007年8月に5年間の協定を締結し、民有林の森林保全活動に協働で取り組んできました。

調印後の挨拶では、JTの宮崎秀樹取締役副社長が「1期の成果はパートナーの皆様のおかげです。より一層力を合わせ、将来の世代に森を引き継ぎたい」と述べました。また、智頭町の寺谷誠一郎町長は、「協働の取り組みは町の新風となり、地域の結束も強まりました。多様な可能性を持つ森林の価値を高めていきたい」と意気込みを語り、森づくりの新たなスタートとなりました。

「とっとり共生の森」森林保全・管理協定調印式



調印式（写真右から）鳥取県・藤井喜臣副知事、JT・宮崎秀樹取締役副社長、
智頭町・寺谷誠一郎町長

とっとり共生の森

企業、鳥取県、市町村の三者で森林保全・管理協定を締結することで、県・地元市町村が連携し、森林所有者と企業等との架け橋となり、地元との調整や企業等の森林保全に関する活動などを支援する制度。

たばこ新商品紹介

火を使わず煙の出ない無煙たばこ

ゼロスタイル

コンセプト別に3商品が限定発売!

10月^{下旬}
限定発売!

特徴ある本体デザインと
独自製法によるカートリッジ

香る
Blue
Mint

香る
Pink
Flavor

香る
Yellow
Taste

「ゼロスタイル・
ドライブコンセプト」
メンソールタイプ

【包装形態】本体1本、カートリッジ1本入
【価格】300円

使用シーンはドライブ（車の中）。味・香りは、甘みを抑えた爽快な強メンソール感をお楽しみいただけます。本体は、車のインテリアをイメージした牛革調の装飾に仕上げました。

「ゼロスタイル・
オフコンセプト」
レギュラータイプ

【包装形態】本体1本、カートリッジ1本入
【価格】300円

使用シーンは休息のティータイム。味・香りは、口当たりがやさしく、飽きのこない、さっぱりした甘さです。本体は、ティータイムをイメージしたやわらかな装飾に仕上げました。

「ゼロスタイル・
ナイトコンセプト」
レギュラータイプ

【包装形態】本体1本、カートリッジ1本入
【価格】300円

使用シーンは友人と過ごす楽しい夜。味・香りは、心地よい刺激とほのかな甘酸っぱさを再現。本体は、ビビッドなカラーで目を引くキューブ状に仕上げました。

“火を使わず煙の出ない” まったく新しいスタイルの無煙たばこゼロスタイルから、「ゼロスタイル・ドライブコンセプト」「ゼロスタイル・オフコンセプト」「ゼロスタイル・ナイトコンセプト」の3商品が、全国の一部販売店にて数量限定で発売されました。

無煙たばこゼロスタイルは、2010年5月の「ゼロスタイル・ミント」発売時より、多くのお客様から味・香りや、本体デザインに関する声をいただいています。このようなニーズにお応えするため、新たに3つのシーンで味・香りや本体デザインを選べるコンセプト商品を発売しました。

パッケージは、チャック袋を採用することにより、従来の商品との差別化を図りました。デザインは、コンセプトとして設定する3つの使用シーンをシンプルに表現したアイコンとサブネームを配置しています。

※このページは株主の皆様にも事業を説明する目的で作成されたものです。消費者へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません

担当者コメント

無煙たばこゼロスタイルを使用するシーンとして『ドライブ（車の中）』『休息のティータイム』『友人と過ごす楽しい夜』の3つのシーンを設定し、それぞれのシーンをイメージした味・香りや本体デザインをお案



しみいただける商品です。今後も既存概念にとらわれることなくイノベーションに挑戦し、お客様満足の向上に努めてまいります。

JT たばこ事業本部
A&E たばこ事業部 次長
大原 弘光

飲料新商品紹介



- ▶ 高級銘柄豆「ブラジルNo.2」をブレンド！
- ▶ 超粗挽きで高級豆のおいしさを引き出しました

リニューアル発売!

ルーツ アロマインパクト 微糖 SPECIAL

185g タンブラー缶 / 115円 (消費税別)

担当者コメント

高級銘柄豆「ブラジルNo.2」をブレンドしたことにより、しっかりとしたコクとスツキリとした後味を楽しめる香り豊かな微糖コーヒーです。ブレンドの中心である「ブラジルNo.2」は、コーヒー豆の産地から国内への輸送に15℃定温輸送を採用し、超粗挽きで粉碎することで高級豆のおいしさを最大限に引き出しました。ルーツ「アロマインパクト」シリーズは、“超粗挽き製法”をブレンドの一部に採用し、コーヒーの雑味を低減した、上品でまろやかな味わいで、さらに香り高く生まれ変わりました。



JT 飲料事業部 商品統括部 (左から) 伊藤 敬、増田 光則



- ▶ ビタミンCと柑橘ポリフェノールを配合！
- ▶ ひめぼんのコクのある甘みと程よい酸味

新商品!

ほっと愛媛 ひめぼん

275ml ペットボトル 115円 (消費税別)



- ▶ 茶葉本来の味わいを楽しめる本格緑茶！
- ▶ 旨みと渋みの最適なバランスを追求しました

新商品!

辻利 宇治抹茶入り 緑茶

275ml ペットボトル 115円 (消費税別)

食品新商品紹介



さめぎうどん 2食

2食入り / 400g

新発売

- ▶ 少人数のご家族や使い切りしたいときなどに便利な2食入り
- ▶ レンジ調理で、火を使わずに本場の味を再現できる

担当者コメント

買いやすく使いやすい商品を望む消費者の声にお応えして、これまで展開してきた「さめぎうどん」5食、3食に、この秋、新たに2食入りを追加し、素材麺の商品構成を充実させました。少人数のご家庭や使い切りしたいときに便利な少量パックは、これからの時季、鍋のズにもおすすめ。価格もお求めやすい設定となっていますので、普段はチルド麺をご使用で、冷凍うどんを食べたことがないという方にもぜひお試しください。と思います。

テーブルマーク(株) マーケティング部 飯島 治久



和のごはん 三種きのこのふっくらごはん

400g

新発売

- ▶ まいたけ、ぶなしめじ、エリンギの3種のきのこに加え、にんじんといんげんを加えて彩り豊かに
- ▶ かつおとこんぶのだしで、素材本来の味を引き立てた混ぜごはん



新発売

和コロッケ まいたけ入り 牛肉コロッケ

6個入り / 150g



新発売

だしがきいている 醤油らーめん

82g (めん75g)

株式会社サンジェルマン 横浜工場

ベーカリーの世界をリードする
「お客様支持率No.1」を目指して

関東圏中心にベーカリーショップを展開する株式会社サンジェルマン。
テーブルマークグループのベーカリー事業の中核として、
ひいてはJTグループの食品事業の一翼としても大きな役割を担っています。
今回は、昨年稼働したばかりの“都市型コンパクト工場”
横浜工場をご紹介します。



代表取締役社長 吉川 恒男

横浜工場概要

所在地

神奈川県横浜市港北区新羽町688

稼働開始日

2011年11月22日

構造

鉄筋造4階建て（別棟 鉄筋造2階建て）

製造品目

パン、冷凍生地、菓子・サンドイッチ



「焼きたてのおいしいパンを多くのお客様に召し上がっていただきたい」という想いのもと、1970年にサンジェルマン1号店が東京・渋谷にオープンしました。普段の生活で口にするパンであっても上質な商品をお客様にお届けすべく、本格的な生産設備を備えたオープンフレッシュ・ベーカリーの先駆者として出発しました。

横浜工場は、40年以上にわたり蓄積してきたパンづくりのノウハウをフルに活用した、最新鋭の工場です。また、テーブルマーク（株）が注力する焼成冷凍パン商品の供給機能を担う戦略拠点でもあります。

都市型のコンパクトな工場です



製造本部長 赤須 正浩

横浜工場は、旧・多摩川工場の老朽化から、同じテーブルマークグループの富士食品工業（株）の工場跡地を有効活用し、2011年11月に稼働を開始しました。

ライン数の集約、動線の短縮、工程の共通化、多段式オープンの採用による窯数の減少など、旧工場の約3分の1のスペースを実現。最新鋭の多段式オープンを採用することにより、品質が向上するとともに、窯を減少することで稼働効率もアップしました。また、最新鋭の設備を導入することにより、焼成直後のパンをスライス・包装するまでの時間とスペースを大幅に縮小することができました。

そして、同じ設備で日中は焼成冷凍パンと冷凍パン生地、夜間には生産品目のメインである店舗向け商品を量産する“二毛作体制”も特徴のひとつです。



X線検査機で不純物の混入がないかをくまなくチェック

工場の片隅には“サンジェルマンの守り神”といわれる稲荷神社があり、安全操業の願いを込めて役員一同が祈祷しています。

ひっそりと立つ鳥居



徹底した衛生管理でホコリひとつ逃しません！

旧・多摩川工場で取得したISO 22000をベースに、より安全・安心な商品提供を目指しています。

たとえば、ご覧のとおり工場の外観には窓がないので、虫の侵入を抑制しています。また、作業エリアごとに床を色分けして従業員、製品等の動線管理や入室準備室でのローラー掛け、手洗いをはじめとする衛生管理を徹底的に行っています。

さらに、フードディフェンスの観点からIDカードでの入退室管理やセキュリティカメラも設置しています。



常に安全・安心な商品提供を心掛けています

品質管理部長 柿原 博

横浜工場で作られるパンの製造工程をご紹介します！



計量



ふるい



ミキサー（中ごね）



発酵



ミキサー（本ごね）



2次発酵



窯入れ・窯出し（焼成）



スライス・包装

出来上がり！



JT 医薬事業部

導出品「JTK-303」を含む配合錠
Stribild™ が米国で新薬承認！

JT 初のオリジナル新薬がついに誕生しました！
国際的に通用する画期的なオリジナル新薬の
創出を目標に取り組んできた成果が、
いよいよ患者様のもとに届けられます。

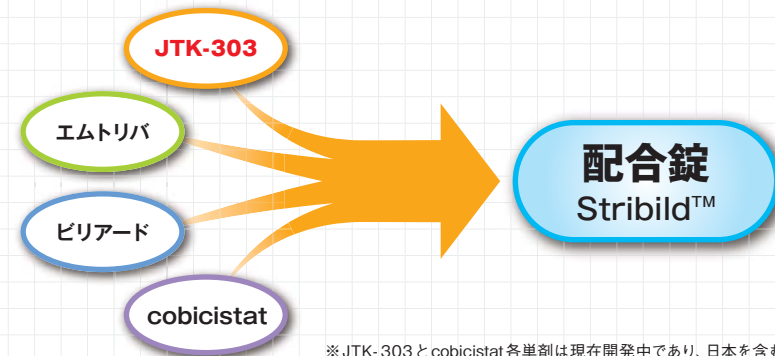


JT 医薬事業部長 藤本 宗明

JT が創製し、2005 年 3 月に米国ギリアド・サイエンシズ社（以下、ギリアド社）へ、日本を除く全世界における独占的
開発権・商業化権を導出していた抗 HIV 薬 JTK-303（一般名 elvitegravir、インテグラーゼ阻害剤）。2012 年 8 月、ギ
リアド社は、この JTK-303 を含む配合錠について、米国食品医薬品局（FDA）の承認を取得したことを発表しました。

医薬事業部で JTK-303 の開発がスタートしたのは、約 10 年前。決して平坦な道のりではありませんでしたが、医薬
総合研究所が中心となってさまざまな障害を乗り越え研究を進めてきました。その後、国内での臨床試験を経て、2005
年にギリアド社へ導出。以後、ギリアド社の研究開発によって、JTK-303 は進化を遂げていきます。

ギリアド社は、JTK-303、「エムトリバ® カプセル 200 mg」及び「ビリアード® 錠 300 mg」の有効成分、ならびに JTK-
303 の血中濃度を上昇させる働きをもつ化合物（一般名 cobicistat）を組み合わせ、1 日 1 回 1 錠の服用を実現しまし
た。HIV 感染症患者様は複数の薬を毎日飲み続けなければならないため、このことは大きなメリットになります。



※ JTK-303 と cobicistat 各単剤は現在開発中であり、日本を含む全世界で未承認です。



FDA に新薬として承認される数は、生物学的製剤も含めてわずか年に 20 件ほど。多くの労力をかけて見つけた
候補品が、臨床試験に進める確率はおおよそ 1/2000。そこからさらに承認までとなると、最終的には 1/5000、
1/10000 の確率にもなるのです。

*出典：米国研究製薬工業協会（PhRMA）／「インダストリープロフィール」2011 年版

医薬総合研究所

大阪府高槻市

・生物研究所 ・化学研究所
・薬物動態研究所 ・生産技術研究所

神奈川県横浜市

・医薬探索研究所

神奈川県秦野市

・安全性研究所



2011 年 10 月、ギリアド社はこの JTK-303 を含む配合錠について、新薬承認申請を FDA に提出し、冒頭の承認に
至りました。現在は、商品名 Stribild™ として米国内で販売されています。

米国での承認を受け、JT では 2012 年度中の日本国内における、JTK-303 を含む配合錠の製造販売承認申請を
目指しています。また、承認取得後は、JT グループの鳥居薬品（株）が国内で独占的に販売する契約を締結しています。
鳥居薬品（株）では、抗 HIV 薬として「ツルバダ® 配合錠」、「エムトリバ® カプセル 200 mg」、「ビリアード® 錠 300 mg」、
「ビラセプト® 錠 250 mg」を販売しており、これらに加えて本配合錠が承認され、販売することになれば、HIV 感染症
領域における医療への、より一層の貢献ができるものと考えています。

●米国ギリアド・サイエンシズ社



1987 年創業のギリアド社は、感染症治療のための抗ウイルス剤開発を事業の中心とした、製薬会社

【新薬承認までの軌跡】

▶ 2004 年

JTK-303 の臨床試験を開始

▶ 2005 年 3 月 22 日

ギリアド社とライセンス契約を締結

▶ 2011 年 10 月 27 日

ギリアド社が Stribild™ を米国 FDA に申請

▶ 2012 年 8 月 27 日

ギリアド社の Stribild™ が米国で承認

グローバルNo.1 プレミアムブランドを 目指して

MILD SEVEN は、
MEVIUSへ。

2013年2月【メビウス】始動。

全世界でブランド名称を刷新し、デザインも統一。
さらなる成長へ向け、ブランドエクイティを強化。

終わりになき進化、世界への勇躍^{ゆうやく}に向け、決意を込めた挑戦

JTは2012年8月8日、マンダリンオリエンタルホテル東京にて、報道機関各社を招いてプレスカンファレンスを開催し、代表取締役社長の小泉から、今後の「JTブランド 新・グローバル成長戦略」について、具体的なデータを交えながら紹介しました。

これまでの35年間、日本でNo.1ブランドとして愛され続けてきた「MILD SEVEN (マイルドセブン)」は、現在 17の国・地域で展開しており、今後 グローバルNo.1プレミアムブランドに成長させることを目標に掲げています。それに向かってグローバル規模でのブランドエクイティのさらなる強化に注力しており、その一環として、新ブランド名称への刷新およびパッケージデザインの全世界での統一を発表しました。

新ブランド名称は「MEVIUS (メビウス)」。この名称には「MILD SEVENの遺伝子を引き継ぎながら、進化に挑み続け、お客様との絆を強いものにしていく」という意味があり、目標であるグローバルNo.1プレミアムブランドへと成長していくための意志が込められています。

※ブランドエクイティ：ブランドが持つ資産価値のこと



日本国内のMEVIUS【メビウス】始動スケジュール

◆2012年11月上旬 NEW DESIGN

— 洗練された高品質感を感じる新デザイン —

果てなく広がる青の世界。しなやかに流れるカーブライン。

そして、全体を包み込むドットの光。

新パッケージでは、ブランドカラーのブルーを継承しながらも、

ディテールにまで徹底してこだわり、

確かな質感やプレミアム感をより鮮明に表現しています。

◆2013年2月上旬 新ブランド名称「MEVIUS」始動

— 新名称「MEVIUS」に込めた想い —

「MILD SEVEN」から「M」「S」の2文字を受け継ぎ、

進化 (EVOLUTION) を意味する「E」「V」、さらに

ブランド自身の「I」と、あなたの「U (= You)」とのつながりも表現。

お客様と共に進化を続けていく強い意志を込めました。

※このページは株主の皆様へ事業を説明する目的で作成されたものです。消費者へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません

鹿沼市立川上澄生美術館 〔栃木県〕



“木版画の詩人”川上澄生が愛した 異国情緒に触れる美術館

栃木県鹿沼市にある『鹿沼市立川上澄生美術館』は、大正から昭和にかけて活躍した木版画家・川上澄生(1895～1972年)の作品を展示する美術館です。同市出身で、澄生の教え子でもあった故・長谷川勝三郎(1912～2001年)のコレクションを中心に、2,500点におよぶ作品が収蔵されています。

“木版画の詩人”とも称される澄生の作品は、版画に添えられる詩と相まってロマンティズムにあふれ、さらに「南蛮文化」や「文明開化」などを題材としたため、異国情緒にも満ちています。その中でも特に「南蛮文化」は、澄生が好んだ題材の一つであり、その画中には多くの場合、たばこを手にした人々が描かれました。また、作品の資料用に集めたキセルやパイプを、配置を

変えてさまざまな構図で表現するなど、澄生は生涯にわたり、たびたびたばこのあるシーンを描き出していったのです。『鹿沼市立川上澄生美術館』で年に4回行われる展覧会では、澄生が制作した木版画のほか、ガラス絵やスケッチ、木工玩具など、彼の画業の広さを物語る作品の数々が紹介されています。

このほか同館では、「木版画大賞」と称した全国公募展を毎年3月に開催。木版画の世界に新風を吹き込んだ澄生の精神を受け継ぎつつ、次代を担う版画家の発掘を行っています。澄生の画中に登場する洋館を模して建てられたこの美術館で、東西の文化を融合させた彼のイメージーションを味わいつつ、現代の版画の世界に触れてみてはいかがでしょうか。



2階の展示室では、展覧会のテーマごとに選りすぐった作品を展示。上品な色合いも澄生の作品の魅力の一つだ



明治時代の洋館をほうふつとさせる内観。赤いじゅうたんが敷かれた階段室の明り取りには、美しいステンドグラスが用いられている



澄生が愛用していた掛け時計も展示。その脇には、親友の一人が買ってくれたものであることなど、この時計にまつわる澄生の文章が添えられている



鹿沼市の市街には『鹿沼市立川上澄生美術館』のほかにも、いくつかの見どころが点在しています。その一つが「屋台のまち中央公園」です。秋祭りに繰り出す3台の彫刻屋台を展示する「彫刻屋台展示館」では、歴史や彫刻技術についての解説、秋祭りの様子を、映像や音響を駆使して臨場感たっぷりに紹介しています。一方、市街の北西部にある「千手山(せんじゅさん)公園」(写真左)には、約300本の桜と1,000本を超えるツツジが植えられ、花の見ごろには多くの人でにぎわう名所です。ほかにもさまざまな乗り物などの遊具が整備され、休日には家族連れが訪れる市民の憩いの場となっています。このように“木のまち”の文化が息づき、美しい花々が咲き誇る鹿沼市は、澄生の版画の世界に触れるうえで、適した場所の一つと言えるでしょう。こうした周辺の見どころにも足を延ばしてみてもいいかもしれません。

■鹿沼市立川上澄生美術館

所在地／〒322-0031 栃木県鹿沼市睦町287-14

(JR「鹿沼駅」から徒歩20分。東武電鉄「新鹿沼駅」から徒歩30分。)

お問い合わせ先／0289-62-8272

開館時間／9:00～17:00(入館は閉館の30分前まで)

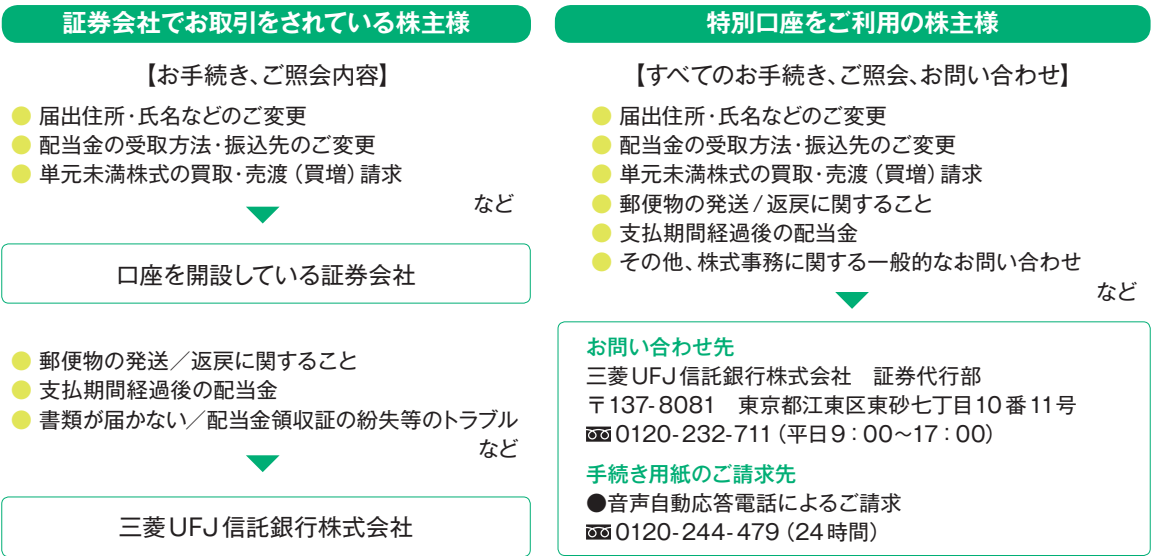
休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始(12月28日～1月4日)
その他、展示替え期間

入館料／一般300円、高校生・大学生200円、小学生・中学生100円(20名以上の場合、団体料金あり) ※毎週土曜日は小・中学生は無料

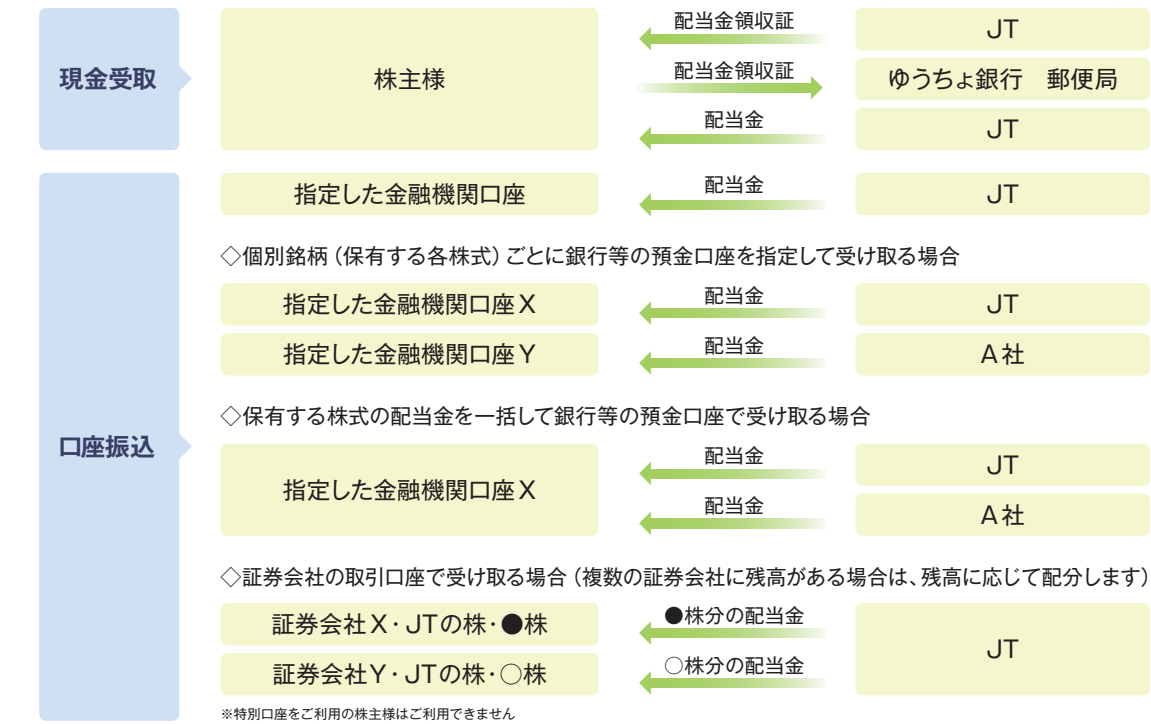
<http://kawakamisumio-bijutsukan.jp/>



株式の諸手続きについて



配当金のお受け取り方法 口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。



役員

取締役		執行役員	
取締役会長	木村 宏	社長	小泉 光臣
代表取締役社長	小泉 光臣	副社長	新貝 康司
代表取締役副社長	新貝 康司	副社長	大久保憲朗
代表取締役副社長	大久保憲朗	副社長	佐伯 明
取締役副社長	佐伯 明	専務執行役員	宮崎 秀樹
取締役	宮崎 秀樹	専務執行役員	飯島 謙二
取締役	岩井 睦雄	常務執行役員	千々岩良二
取締役	岡 素之	執行役員	村上 伸一
取締役	幸田 真音	執行役員	山下 和人
監査役		執行役員	佐藤 雅彦
常勤監査役	立石 久雄	執行役員	川股 篤博
常勤監査役	中村 太	執行役員	春田 純一
監査役	上田 廣一	執行役員	永田 亮子
監査役	今井 義典	執行役員	寺島 正道
		執行役員	田中 泰行
		執行役員	米田 靖之
		執行役員	福地 淳一
		執行役員	藤本 宗明
		執行役員	佐々木治道
		執行役員	見浪 直博
		執行役員	山田 晴彦
		執行役員	廣渡 清栄

株価の推移

